

げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ

◆「五人の会」写真展 8月31日(火)～9月5日(日)

今年、設立30年を迎えた「五人の会」(代表:吉田 俊雄 様)の5名の皆さまによる写真展です。若狭地方を中心とした風景や伝統行事、人物などをテーマとした作品31点を展示中です。

◆敦賀市小中学校児童生徒理科作品展示 9月14日(火)～19日(日)

夏休みに敦賀市内の児童・生徒が、創意工夫を凝らし取り組んだ理科研究・工作の中から、各校の優秀作品50点を展示予定です。主催:敦賀市小中学校教育研究会理科部会

◆敦賀市短歌人会 色紙展 9月21日(火)～26日(日)

結成21年目になる敦賀市短歌人会(代表:竹内 展子 様)の皆さまによる短歌色紙展です。会員各々の想いを込めた作品25点を展示予定です。

◆能面への誘い 新作能面個展 大同 長久 9月28日(火)～10月3日(日)

趣味で長年能面打ちをされている大同 長久 様による作品展です。郷里若狭能倉座の古面などを参考に制作された新作を中心に、能面作品27点を展示予定です。

◆動物たちにめくもりを!動物あいごパネル展 10月5日(火)～10日(日)

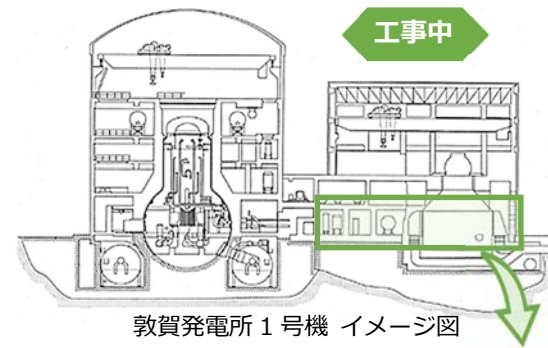
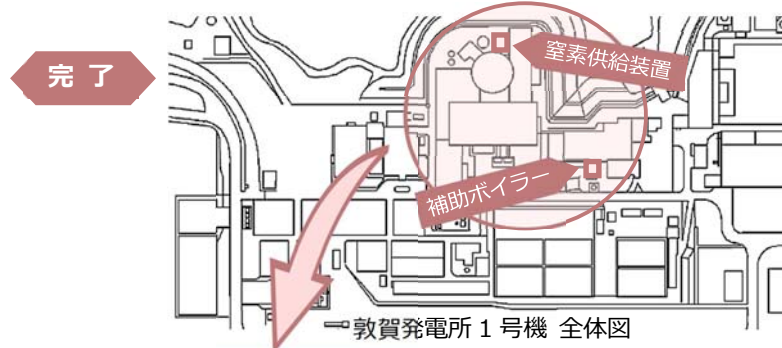
動物たちとの共生を推進する会(代表:藤田 幸雄 様)によるパネル展です。日本の動物愛護の現状と課題(アニマルセラピーなどの動物福祉社会の実現、気候変動に伴う生物の生命危機意識高揚など)についてのパネル約200点を展示予定です。

お問合せ

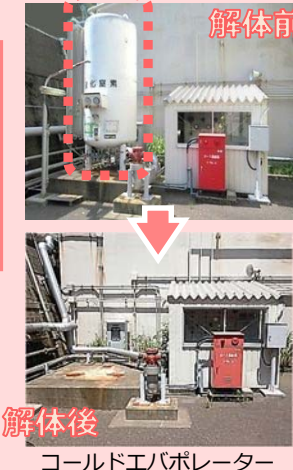
げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 10:00～16:30※ 休館日 12月29日～1月3日
※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。
http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/index.html

敦賀発電所 1号機 廃止措置工事の状況

2021年2月22日から実施していた補助ボイラーおよびコールドエバポレーター(室素供給装置)解体工事は、計画どおり7月30日に完了しました。引き続き、タービン補機冷却系熱交換器他解体工事を行っています。



補助ボイラーおよびコールドエバポレーター(室素供給装置)解体工事 (2021年2月22日～7月30日)



タービン補機冷却系熱交換器他解体工事 (2021年2月22日～)

補機冷却水ポンプ、補機冷却系熱交換器を撤去しました。引き続き、配管、関連機器の撤去を行っています。



本資料の作成元・お問合せ先: 日本原子力発電株式会社 (略称: げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部

TEL: 0770-25-5713 住所: 敦賀市本町2-9-16



げんでん いんふおめーしょん 9月号

2021年9月3日

No.205

1. 敦賀発電所の状況 (2021年9月3日現在)

プラント(炉型)	状況
1号機(沸騰水型) 	●2017年5月15日より廃止措置工事中 (廃止措置期間: 24年) ○2015年4月 営業運転終了 ○第4回定期事業者検査中(2021年4月1日～11月下旬予定) ○タービン補機冷却系熱交換器他解体工事中(2021年2月22日～) 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2号機(加圧水型) 	電気出力116.0万kW, 1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量1922億9908.3万kWh ●2011年8月29日～ 第18回定期検査中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 ○2015年11月5日に新規規制基準への適合性確認審査のための申請を行い、現在審査対応中です。対応状況は、以下をご覧ください。

= 敦賀発電所 2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について =

原子力規制委員会による審査は、現在、敷地内破砕帯評価と地震動評価(地震の揺れ)の二つの論点について進められています。

昨年2月の敷地内破砕帯評価に関する審査会合において、敷地北側にある断層(K断層)と2号機原子炉建屋の直下にある破砕帯との関連性について当社から説明したところ、審査資料に当初記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し、詳細データとなる顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて、不適切であるとのご指摘を受けました。

ご指摘を受けた件については、審査とは別に品質保証に係る検査として確認していただくとともに、審査を継続していただいておりますが、8月18日に開催された原子力規制委員会において、調査データに基づく当社の評価結果の信頼性が確認されるために必要な業務プロセスの構築が確認されるまでの間は、審査会合を実施しないという方針が示されました。

当社は、今回の原子力規制委員会の決定を重く受け止めるとともに、審査の進展を期待いただいている地域の皆さまに多大なるご心配をおかけしていることを、心より深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては、原子力規制委員会から示されましたご指摘には真摯に、また適切に対応し、品質管理の継続的な改善を図るとともに、早期に審査会合を実施していただけますよう、全力で取り組んでまいります。

2. 敦賀発電所 3, 4号機準備工事の状況 (2021年9月3日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



建設予定地の状況(2021年8月26日撮影)

3. トピックス

・フルハーネス型墜落制止用器具※使用作業特別教育を実施

敦賀発電所では、高所作業の労働安全確保のため、高所作業に従事する作業員を対象として、法令に基づく「フルハーネス型墜落制止用器具使用作業に係る特別教育」（以下、特別教育）を、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りつつ定期的に実施しています。

8月4日に実施した特別教育では、受講者は「墜落用器具に対する知識」、「労働災害の防止に関する知識」などを習得するとともに、フルハーネス型墜落制止用器具の装着方法などを実技にて確認しました。

当社は、安全第一を最優先とし、現場作業の安全確保に努めてまいります。



フルハーネス型墜落制止用器具を体験



フルハーネス型墜落制止用器具の装着



※フルハーネス型墜落制止用器具は、胴ベルト型安全帯に比べて肩や胸などの複数のベルトで構成されるため、万一、高所から墜落した場合、身体が安全帯から抜け出すことや胸部・腹部の圧迫リスクを低減し、宙吊り状態でも“逆さま姿勢”になることを防止できます。

4. 次世代層への教育支援活動

・福井大学敦賀キャンパス内の原子カライブラリに技術図書※を寄贈

当社は、敦賀発電所に関連する技術図書を8月5日に福井大学敦賀キャンパス内の原子カライブラリに寄贈させていただきました。

これまでも当社は、原子力の安全確保などの観点から原子力人材の確保・育成は重要と考えており、原子力に関わる様々な研修やインターンシップ受入れなどの協力を行っておりますが、福井県が策定した「嶺南Eコースト計画」において、国内外の研究者などが集まる研究・人材育成拠点の形成に向けた施策として掲げられている「福井大学敦賀キャンパス内『原子カライブラリ』の整備」にも協力させていただきました。

また、今回寄贈した図書については、敦賀原子力館、げんでんふれあいギャラリーに設置している「情報公開コーナー」でも公開しており、どなたでもご覧いただけます。お気軽にお問合せください。



福井大学敦賀キャンパスの原子カライブラリ（福井大学附属国際原子力工学研究所 宇壁所長（右）と 当社立地・地域共生部 中村部長代理）

※寄贈した技術図書

- ・原子炉設置変更許可申請書（2号炉）
- ・敦賀発電所2号機のトラブル情報等
- ・敦賀発電所1号機廃止措置実施方針
- ・敦賀発電所原子力事業者防災業務計画など

5. コミュニケーション活動

（1）げんでんネクサス懇談会※を実施

7月27日、げんでんネクサス懇談会を実施しました。外部講師による「原子力発電の廃止措置と放射性廃棄物について」をテーマとした講演のあと、グループディスカッションとして、低レベル放射性廃棄物のうち放射能レベルが人体に影響がないくらい低いものは放射性廃棄物として扱う必要がないとするクリアランス制度について意見交換を行いました。

ネクサス委員の皆さまからは、「クリアランス制度の定着には子供の時からの教育が重要である」、「関心のない対象へのアプローチが必要である」などのご意見・ご感想をいただきました。



▲外部講師による講演

◀グループディスカッション web会議で参加の委員もいらっしやいました（写真左奥）

※当社は、嶺北地区の有識者の皆さまから当社の事業運営やエネルギー・原子力についてご意見を伺う「げんでんネクサス懇談会」を実施しています。

（2）げんでんふれあいトークを実施

当社は、地域の皆さまとコミュニケーションを深めさせていただく場として「げんでんふれあいトーク」を行っています。

8月5日、敦賀市連合婦人会 理事会にお伺いし、敦賀発電所の現況、再生可能エネルギーなどについて説明したあと、ご参加の皆さまと意見交換を行いました。

皆さまからは「いろいろな発電方法を上手に組み合わせることが必要だと思った」、「説明がわかりやすく、また勉強したい」などのご感想をいただきました。



げんでんふれあいトークの様子
「敦賀市連合婦人会 理事会」の皆さま

6. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ

敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで、29コースの公開研修を計画しています。以下はお申込み期限が近づいている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細、応募方法は、QRコード※または下記 URL から当社ホームページをご覧ください。

なお、当面の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、福井県以外の地域からの受講お申込みをお断りしています。また、研修日から遡って14日以内に福井県外へ訪問された方の受講お申込みをお断りしています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です

☞ <http://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html>

研修名	研修概要	研修期間	申込期限
クリアランス入門コース※	原子力施設の廃止措置に伴い、「放射性廃棄物として扱う必要がないもの（クリアランス）」が多く発生します。それらの概念やクリアランス測定方法などクリアランスに関する基本的な知識を学びます。	10月 29日	9月 17日
リスクコミュニケーションコース	リスクコミュニケーションとは、リスクについて関係者間で情報や意見を交換し、その問題についての理解を深めたり、お互いにより良い決定ができるように合意を目指したりするコミュニケーションを言います。この研修では、講義やロールプレイング（役割演技）、参加者側の意見交換を通じて、リスクコミュニケーションのあり方、方法などを学びます。原子力広報については、主に当社が実践している事例を用いて説明します。リスクコミュニケーションや広報は原子力に限った話ではありません。その手法を学ぶことはとても有益です。広く一般の方にもお勧めします。講義の一部やロールプレイングは専門家に依頼しています。	11月 11日～ 12日午前 (1.5日間)	10月 1日
根本原因分析手法コース	事故やトラブルの原因分析に使われる SAFER（Systematic Approach For Error Reduction）を理解し、問題の根本的な原因を明らかにする手法を学びます。本コースで学ぶ手法は、原子力の現場だけでなく、一般産業のあらゆる場面でも活用できます。	11月 25日午後 ～26日 (1.5日間)	10月 15日

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当面の間、発電所見学を中止しています。今後の状況により、発電所見学が可能になりましたらホームページでお知らせします。

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市香見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（応募申込み専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp



敦賀総合研修センター

7. 主な報道発表（2021年8月2日以降）

詳細な内容は当社ホームページ ☞ <http://www.japc.co.jp> をご覧ください。

8月 5日 15日	当社協力会社社員の新型コロナウイルス感染について 当社（福井地区）は、8月4日、敦賀発電所に勤務する協力会社社員1名、8月14日、敦賀総合研修センターの清掃業務に従事する協力会社社員1名が、新型コロナウイルスに感染していることを確認しました。当社は、これまで新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止対策を実施しており、発電所の運営に影響はありません。引き続き、感染拡大防止に努めてまいります。
8月 18日	当社コメント（敦賀発電所2号機の審査の取扱いに関する原子力規制委員会の方針について） 本資料1ページ「敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について」をご覧ください。
8月 27日	敦賀発電所 原子力事業者防災業務計画の修正について 当社は、原子力災害対策特別措置法に基づき、敦賀発電所の原子力事業者防災業務計画について、毎年の見直し検討を行うとともに今年度の修正案を取りまとめ、2021年6月4日から関係自治体との協議を開始しました。（6月4日お知らせ済）その後、関係自治体との協議を踏まえて原子力事業者防災業務計画を修正し、内閣総理大臣および原子力規制委員会に届け出ました。 当社といたしましては、今後とも、敦賀発電所の原子力防災対策に万全を期してまいります。